



## 学園長のメッセージ

あけましておめでとうございます。



本年も教職員一同、幼児教育に励んでいきますのでご支援のほど、宜しくお願いいたします。

さて、去年末のクリスマス生活発表会、とても素敵でしたね。私もリハーサルなどの舞台練習では、子どもたちに「こうした方がいいよ」「もう少し大きな声でないと聞こえないよ」「こう移動した方がやりやすいよ」等、アドバイスをします。子どもたちは飲み込みも早く、とても上手に演じてくれます。監督の言うことをすぐに理解して、表現できる名優ぞろいでした。

そして当日、ライトを浴びて多くの皆様の前でも堂々として、もはや舞台度胸も付いています。その様子を見ながら、かく言う私はというと、自分が幼稚園児の時、確か“くま”の面を頭に付けて、あまり人前に出たくないし、何をしているのか自分自身よくわからないし…。とにかく隣の子の後ろ後ろに隠れていたのを思い出します。いわゆる、隣の子とかぶるということをやっていたのですが、先生に見つかり、「もっと線の所まで出なさい。」と注意されたのを思い出しました。そんな私が、こうしろ、ああしろと子どもたちにアドバイスしているのですから我ながら不思議な気持ちです。でも、私と違って子どもたちはとてもすばらしい名優さんたちでした。2月の音楽会も大きな舞台で立派な表現ができることだろうと、今から楽しみです。このような行事でなければ育てられない、いわゆる舞台度胸や舞台慣れというものが育ってくれることだと思えます。